

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和4年8月2日(火) 13時30分～15時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
審査グループ 研究炉等審査部門  
細野安全管理調査官、上野管理官補佐、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、  
荒井安全審査専門職、加藤原子力規制専門員  
検査グループ 核燃料施設等監視部門  
石井主任監視指導官  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長  
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課 マネージャー 他1名  
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他8名
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料  
資料1 高放射性廃液貯蔵場(HAW)及びガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟の安全対策に係る性能維持施設について  
資料2 高放射性廃液貯蔵場の空気圧縮機(272K64)のブロワ部の分解点検結果等について  
資料3-1 TVFにおける固化処理状況について  
資料3-2 工程洗浄の進捗状況について  
資料3-3 核燃料サイクル工学研究所再処理施設に係る廃止措置計画変更申請書(令和4年6月30日申請)の概要について  
資料3-4 高放射性廃液貯蔵場(HAW)及びガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟の火災防護対策の取り組み状況について  
資料4 東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール(案)

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。それでは本日の面談始めさせていただきたいと思います。では早速、資料の説明に先立ちまして、ガラス交換の状況についてご説明お願いします。
0:00:12	原子力機構の中野です。あのですね冒頭のガラス固化等工程洗浄の状況説明についてはそのあとの資料をセットしております介護資料の、
0:00:23	3-1のTVFの状況説明それから3-2の方の工程洗浄と内容重なりますのでできればそちらとあわせて最初に説明させていただければと思うんですが、差し支えなければ、
0:00:38	お願いいたします。
0:00:41	原子炉規制庁の加藤です承知いたしました。それでは資料の3の時にご説明いただくということで、
0:00:48	資料の順番に沿ってご説明をお願いできればと思います。
0:00:54	すいません。先宮崎ごめんなさい。先にご説明お願いします。はい。はい。
0:01:02	現職モリカワです。
0:01:13	原子力規制庁ですけどちょっと音が途切れてしまったので、その1をお願いします。
0:01:18	原色モリカワです。資料の方ですけど、86ページ目の資料3-1になります。
0:01:26	TVFにおける固化処理状況についてということで次回の会合の資料として直近の運転までのデータを入れた形で資料の方を整理しております。
0:01:40	87ページ目発注について、まずPということで、
0:01:45	これ前回の会合でも
0:01:49	今回の運転に向けての経緯を整理しておりますそれを踏まえて今回運転に向けた経緯という形で、まず最初に2枚ことを整理しております。
0:01:58	一つ目の矢羽根前回の運転での方流下停止に関わる記載ということで、こちらを踏まえて、
0:02:06	クリアランスを確保した結合装置、Eに伊勢を新規に製作し交換して運転を再開することとしている、したと。
0:02:15	二つ目はそれを踏まえて前回のですね21日のキャンペーンは令和3年8月から運転を開始と。
0:02:22	三つ目の矢羽根として11番目のところで白金族元素の体制管理資料に到達したため、ガラスを全量抜き出しているのを停止してますと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:35	四つ目の利点として停止号炉ない観察を行ったところを西側の提携斜面上部に、残留ガラスを確認と、この次回運転に向けてザ残留者からその除去作業を行うこととしたと。
0:02:50	五つ目の移転として前回の運転における自然許可補正抵抗の経過による夜停止はあらかじめ想定した事象たものの、佐藤より少ない本数で低下したということで、最後、
0:03:03	原因調査の結果から、主要につきましては前回 19 日キャンペーンの運転での流下ノズル加熱コイルの接触による漏電。
0:03:12	複数回の低加熱よりいいにして傾斜面にはっきり物が堆積したという形で判断していると、88 ページ目。
0:03:23	一つ目のレ点で周囲につきましては結合装置の交換で対応済みということで、同様の事象は生じないというふうに考えていると。なお今回の運転開始前においても I T V カメラにおいてこのノズルと加熱コイルの組み合わせが確保されていることを確認しております。
0:03:39	二つ目前回の運転における加速要因ですな助長した要因については、これの影響を軽減させるための対策ということで排気の供給速度、自然局間電力こちらを調整した。
0:03:52	今回において反映しております。
0:03:55	三つ目の前回の運転の不具合事象ということで除染装置のコア水ポンプでありますとか、蓋溶接、こちらの停止所をがありました。
0:04:05	こちらにつきましては、法四つ目として、不適合処置を製造して再発の防止を図っております。これに加え、前回ある程度気がかり事象につきましては、設備機器の点検予備品への交換天使の改定等を進めたと。
0:04:19	さらに、それらを踏まえまして不具合事象についての想定事象というのを再整理したという形で今回の運転臨んでおります。
0:04:29	89 ページ目、官邸の基本方針ということで、
0:04:33	まず早期管理を目指して取り組んでいるということで二つ目として、19 -1 キャンペーン以降の遅れに対しては、当面の工程を着に進めていくという観点でまず (1) 番目の最大製造本数 46 を目指し複数のホールドポイントを設け、
0:04:49	段階的に 60 本製造を目指して進めていくということ。
0:04:53	二つ目のポツとしては、終了につきましては、11 月下旬までに運転を収集するという事。
0:05:02	三つ目として運転は順調に推移 60% 製造した場合は 11 月下旬まで運転を継続し製造本数をふやすということ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:09	三つ目のレ点として、今回工程を着実パンテンから、白金族元素堆積状況をより正確に把握ため、これまでの監視指標等に加えて新たな監視項目として、白金族元素堆積者検査会社の主電極間での増加傾向。
0:05:24	それからその低下傾向を監視していくということにしております。
0:05:28	またアのほうに号炉での大瀬緒方の製造本数、除去作業を行ってきておりますのでこちらの運転データの積み上げ、白金族元素の堆積管理所の変化の傾向を把握していくということで、
0:05:40	今回の運転についての基本方針ということです。複数の方の本につきましてはこちらの※3 って書いてますけど、ホールドポイント 123 ということで 10 本製造した段階 40 炉を製造した段階 60 本製造した段階ということで、まず 10 本のところは、
0:05:55	前回運転の白金族元素が堆砂対策観測用の対策の確認ということで今進めているところでございます。
0:06:03	90 ページ目こちらがこれも前回の会合でお示した資料です記載してるところちょっと前回抜けたところを改めて追記してますんで、
0:06:14	先ほど説明説明したものがその運転計画で目標設定で、
0:06:19	終わりましたら評価、3 号の更新判断って形で進めていくと、今回の点につきましては、ホールドポイントということで運転前のホールドポイントと運転中のホールドポイントということでそれぞれ設けて、段階的に進めていくということにしております。
0:06:35	91 ページ目今回の点の概要ということです。
0:06:40	今回の運転につきましては、前回の会合でもご報告しておりますが 5 月 23 日は除去作業終了と。その後、以下に示した作業を進め 6 月 28 日から作業開始 7 月 10 日からガラス固化処理を開始しております。
0:06:57	一つ目の矢羽根です。こちらにつきましては先ほど示しましたが放流数を加熱コイルですね。
0:07:04	こちらの方のクリアランスを 6 月 13 日に確認していると、十分クラスが確保できていることを確認しております。
0:07:11	作業終わった後に二つ矢羽根としていろいろの定期乗車検査ということで台車と結合装置インターロック作動試験、これを実施して、
0:07:21	熱上げ前に計画した転記及び検査をすべて終了しております。6 月 2 月しか熱上げを開始し、熱を中に実施する項目ということで、
0:07:30	配管系の漏えい確認ですねとともに MS マニプレータの点検整備及び訓練、これにつきましては 4 月 9 日までに、
0:07:39	すべて実施し、運転前までに計画して点検をすべて完了しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:44	これらをもって7月10日から運転を開始しております。7月10日、運転開始後に、
0:07:51	ガラス固化体一本目の流下準備を行ったところを言うか監視のＩＴＶカメラの映像が映らなかったことを確認したということでこちらにつきましては、点検整備を行って7月15日復旧しております。この間、
0:08:03	1. 5日ほど補充運転を行っております。
0:08:07	92 ページ目。
0:08:10	一つ目の矢羽根カメラの復旧以降ですね。
0:08:13	ガラス原料供給装置の運賃状況等を若干行ったっていうのありますけど、保持運転等は行っておらず、8月1日現在で9本目まで流下を行い、7本のガラス固化体の保管を完了しております。
0:08:28	二つ目はホールドポイント①ということで、こちらについての確認項目につきましては、
0:08:34	後でお示しますが、前回の運転延長した炉底傾斜面上部への白金族の堆積傾向は見られていないということ、また、加速された要因につきましても、
0:08:45	田井教育創造とか、電力ですね自然局関連流こちらに対して、対策を行ったことにより、工務グループの温度、気相部温度の傾向から、こちらの方の大津調整の効果を確認しております。
0:08:59	最後要因の主電極間の体制管理指標支援強化補正抵抗等についての推移につきましても、過去の実績と比較して有意な在籍の傾向は見られていないということで今現状いろいろ安定しているような状況でございます。
0:09:13	93 ページ目、まず音声前の行動ポイントということで、
0:09:17	こちらの報道ポイント上の方に書いております。熱あい開始前のホールドポイント1というのと、運転開始までのホールドポイント2ということで、こちらの方を段階的に確認しながら、運転開始の方に向けて準備を進めてきたということでございます。
0:09:32	94 ページ目、運転前のホールドポイントということで、①と②、記載しております熱上げ前の会社ホールドポイント①ってことでこちらにつきましては
0:09:42	施設の整備、作動(2) 要領書の整備教育訓練、不適合関係の状況、
0:09:48	あとは定期事業者検査、これらが終了していることということで、こちらについては、事前にガラス固化部の部長確認し、センターの運営会議で、センター長の確認を経て、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:59	役員等に報告書後に熱上げを開始しております。同様にホールポイント2ということで、運転開始前につきましても、
0:10:07	事前に荒川部長は小西運営会議等でセンター長の確認えて所長等を役員に報告した後にウンテンカイしてるという形で、
0:10:17	運転の方を進めております。
0:10:19	95 ページ目。
0:10:21	今回の運転に向けた対策の主要因ということで流下ノズル加熱コイルのクリアランスにつきましては、前回 21 のキャンペーン前です。こちら結合装置交換したの、後のクリア 9.7B だったと。
0:10:36	今回、22-1 キャンペーンでは 9.6mm あったということで、前回の運転前の組み合わせの結果と比較から、前回の予定 Nuclear 数が、1 育成が行っているような進展傾向が確認されなかったということで、引き続きこの状況で運転可能と。
0:10:52	形で、今回の運転の方に臨む一方でございます。
0:10:57	96 ページ目以降につきましては、運転中のホールドポイントということで、
0:11:03	まず運転スケジュールと実績ということで。一番上は受入施行者代金の形これは週 1 回の割合で、定期的にはご受け入れてると。で、
0:11:14	その後その下にあるいろいろの方につきましては、原料供給、運転開始が 7 月 10 日から
0:11:21	あとガラスの流下の方につきましては 7 月 16 日から、
0:11:27	固化体保管の方が 7 月 20 日、1 日からという形でほぼ計画通り進んでいるような状況でございます。
0:11:35	97 ページ目、それから流下実績につきまして、
0:11:39	こちらのグラフで管理をしているところでございます。青の線が計画として記載しております。大体 1 本当たり 2 日にいっぺん、ちょっと過去の実績等を踏まえて 50.6 時間%
0:11:54	アワーフォンという形で計画しております。これに対して赤で実績って形で記載しておりますほぼ計画通り進んでいる状況でございます。
0:12:04	青の線は、最速のケースということで、46 時間で 1 本つくった場合って形で、この間に入ってくれば基本的に計画通り進んでるっていう形で今管理してます。この中でホールドポイント 1 っていうことで 10 本目という形で、
0:12:18	今これに向けての評価をしているところでございます。
0:12:22	98 ページ目。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:24	こちらは運転データということで前回の運転後ですね、19 日間と 20 キャンペーンでの運転データの比較をした時のグラフをこっちで一旦示しております。
0:12:39	前回の運転につきましては、
0:12:41	右側のグラフでありますようにそのガラス温度、赤のラインですね一番右の方の⑧っていうふうに書いてるところにつきましてだんだんそのガラス温度が下がってきてるという条項。
0:12:53	あとその下古門戸っていう、青の線ですねこちらもう 21 のキャンペーン入ったら上昇傾向が見られると。
0:13:01	そのした主電極電流こちらも上昇傾向が見られると。
0:13:06	その下紫色ですねし電極間抵抗こちら低下傾向が見られていると。
0:13:11	その下の方のグラフですね、これ補助炉底側の方の温度ですね、こちらについても、
0:13:18	歩調を、の温度差が少し逆転したり、上昇傾向が見られたりと、補助管の抵抗が低下傾向見られたというような、こういうような兆候が見られて MARUWA の方の悪化、
0:13:29	が確立されていたという状況です。今回の運転データにつきましては 99 ページ目に示しております。
0:13:38	まだちょっと整理中なので少し
0:13:42	左側の
0:13:44	表の記載等が少し抜けているところありますが、
0:13:47	一応ほうウエノ前のグラフと同じようなレンジのをデータとして整理しております。これを見る限りはですね、ガラス温度上の赤いラインですねほぼほぼ、
0:13:59	一定のラインで根本と言われる、青のライン、こちらも一定で推移していると。
0:14:05	その他の主電極電流につきましては若干ちょっと上昇傾向が見られているかなというところでございます。
0:14:13	それ以外の気相部運動、不自然共感抵抗こちらもほぼ一定で推移していると。その下のグラフ、補助電極間の A B 運動補助で、補助電極間抵抗は若干少し下がってるところは見えますけど、
0:14:27	今現状におきましては、ほぼこう一定で推移しております、ドライ状況は安定してるんじゃないかというふうに評価しております。
0:14:35	詳細につきましては 100 ページ目以降で期待しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:40	まず 100 ページ目こちらホールドポイント 1 での確認結果ということで、一番ウェートホールドポイント 1 両括弧 1 っていうことで白金族元素が早期に対した対策の確認ということです。
0:14:54	こちらにつきましては、炉底傾斜面上部前回運転後に確認されたものですが、この上部に、
0:15:02	白金族元素の堆積傾向運転で確認するというので、まずこの堆積したものに白金雑言層を堆積土砂に、
0:15:12	流れ自然局関連流これが急激に上昇していくという傾向が前回確認されております。
0:15:19	この
0:15:22	解析白金族元素主電極間電流が流れることによって、
0:15:26	ガラス原料ですねが溶けにくくなると、ガラス表面の丘焼損というものと受けにくくなって、それに伴ってガラス温度が C が低下していくというような前回条項を確認されたということで、
0:15:38	その白金族元素に流れる電流の上昇、あとは、仮称相馬このガラス温度のシチの低下傾向こういうのが今回まず 10 バッチで起きていないかということを確認しております。
0:15:52	右下の表 2 なグラフになります。緑の横線、こちらが今説明した内容で、まず表の上の方ですねグラフの上の方の数、
0:16:04	三角緑の三角ですね。
0:16:07	こちらがガラス温度になります。こちらのまずガラス温度の低下傾向が確認されると、下のグラフ、これが堆積物に回り込む電流になります。
0:16:20	前回の 21 のキャンペーンで急激にこちらが上昇してると。この上昇に伴って、上の方のガラス温度低下傾向が見られているというようなことが重なって起きております。
0:16:31	今回につきましては赤の丸印で示しております。下の方の回り込み電流につきましては、ほぼそ急激な上昇が見られず、10% ぐらいまでのちょっと若干は上昇は見られておりますが、
0:16:47	ほぼ一定で推移してるということで、ウエノをそちら月別のガラスの温度ですねこちらもある程度一定の値で維持しているということで、今回の運転においてはこのような電流の回り込み、
0:17:01	またガラスの低下傾向は見られていないということでこの定形斜面上部に白金族元素の堆積は確認されていないというふうに今評価してるところでございます。
0:17:11	101 ページ目。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:13	こちらにつきましてはパソコン用の対策ということで、上記のようは前回のページのような炉底傾斜面上部に堆積した上で、
0:17:22	この範囲供給速度が若干早かったと言うことを、こういうことに伴いまして、ガラス原料が溶けにくくなったということでそういうことによつて気相温度が低下していきっていくということが、前回確認されていると。
0:17:37	この
0:17:39	大木蘇武もですねこちらの方熱量温度が下がっていくと、炉底傾斜弁上部顧問プローブと言われて温度が上昇するというような傾向が現れるということが、
0:17:50	前回確認されているところでこちらの方の大木総合度と顧問プロップの温度の推移を今回確認しております。こちらも同様にハの右下のグラフで示しております。
0:18:01	まず気相部温度をにつきましては、下の方のグラフになります。大体300度ぐらいで坂部流で管理してるところでして、今回、赤の丸で書いてますが、
0:18:15	ほぼ300度以上で、一定を維持していると、前回につきましては緑色の三角ですね390のような部分が見られたということで、
0:18:26	現状そこまでは見られていないということで上の方のグラフにつきましてはこちらが顧問プロップガラス温度ということで、前回は緑色ってことでかなり変動してるところが見られたと、少し上昇傾向が見られたという、
0:18:40	今回、赤の丸ですけどこちらはもうほぼある程度一定で推移してるってことでこちらにつきましても、家族用にですね排気の供給速度、電力の改善することによって、こちら辺が一定に保たえてる形で、
0:18:53	こちらの対策は有効であったというふうな形で今現状評価してるところでございます。
0:18:58	102ページ目、こちらのパッキン増減層の堆積状況のついてということで両括弧3、示しております。
0:19:06	こちらの方のスターのグラフ、これは過去の運転データでございます。これも今まで監修介護等でお示ししております。
0:19:14	緑の線が補助電極間抵抗、これがまず最初に下がってきて、次に、赤のライン②ですね、炉底低温運転の移行時間、これはそこに白金族がたまってくるとそこがなかなかしにくくなっていくってことで、
0:19:29	だんだんと炉底低温に移行する時間が長くなってしまおうと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:33	最終的に、主電極間抵抗が下がる、③の青のラインに下がるというような傾向がこれまで見られたということで、このような推移が今回の運転と比較してどうだったかということ、
0:19:45	次のページから示しているところでございます。
0:19:49	103 ページ目まず補助電極間抵抗補の推移となります。
0:19:55	前回は緑の三角のラインですねと比較して同じような低下傾向を示しておりますが、
0:20:04	このまま経費下がっていくわけではなく今少し断層を察知できてるような状況かなということでこちらについては引き続きデータの方確認していくところですけど急激な低下っていうのは今のところ見られてないかなというふうに評価しているところでございます。
0:20:20	続きますは、4 ページ目。
0:20:23	600 円ほどの移行時間ということでこちらも前回は緑の方の三角っていうことで、炉底低温に移行する時間がかかなり変動するような状況が前回見られてたと。
0:20:36	それに対して今回は大体 5 時間から 10 時間ぐらいの範囲内でほぼこちらの方も一定の方を推移してるってことで、景気な上昇傾向は見られていないというふうに評価してます。
0:20:47	最後 105 ページ目、自然許可補正抵抗、
0:20:50	こちらについても、前回の緑、その前とかこの黄色とか赤とを比較してもほぼほぼ、大体その一定の方に落ち着いてきているのかなということで、この後の新抵抗の方については見守っていきませんが急激な抵抗の低下っていうのは、
0:21:09	見られていないということでこちらについても、現状問題ないかなという形で評価してるところでございます。
0:21:16	106 ページ目、両括弧 4 ということで設備の状況ですねこちらも一通りちょっと整理しております。
0:21:23	次の 107 ページ目にその工程の方を載せておりますが①から⑥ですね、受け前処理、ガラス原料供給設備、ガラス熔融炉硬化体取扱設備、
0:21:35	あとはその付帯設備の方を槽類換気系、遠隔保守系、あと U T T 系という形で、状況の方を整理しております。基本的にその右側の方に書いておりますが、
0:21:46	大きな不具合等が起きていないということです。ただガラス原料供給数の方②ですね、こちらにつきましては粉じんの方が光センサー等に付着

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	して少し自動停止ってというのがありましたけどこちらについては粉じん除去して、
0:22:02	運転再開ってことで2時間程度の原料供給停止しておりましたが保持運転等を行わずに今運転の方がそのまま引き続き継続しているという状況です。
0:22:11	④として、固化体取扱系こちらにつきまして2本目のところで再除染が必要になったというような事象がありましたけども、こちらの再調整を行って、閉じ込め確認計算により申せないことを確認しております、
0:22:25	これにつきましては特に運転等に影響ない状況で今運転を継続しているというところですよ。⑥につきましてはこれ水位報告書見ますI T Vカメラですね、こちらの方、流下監視カメラ側の基盤を交換したと。こちらにおいては1.5日間ほど保持運転を行っています。これ以降、
0:22:43	特に側変化報酬冬季についての不具合等起きていないということで、基本的に運転設備等については大きな異常となく、順調に運転が進んでいるという状況でございます。
0:22:55	107ページ目は先ほど工程図に磯山先ほどの実績等を記載するところでございます。
0:23:02	108ページ目、それらの結果のまとめということで、現時点は基本まで流下を行って、7本のガラス固化体を保管しているということで、
0:23:11	会合までにつきましてちょっとデータの整理の状況を踏まえてこちらの方をプラスで追記したいと考えております。
0:23:19	二つ目ホールドポイント①の確認項目につきましては、こちらの方の提携斜面上部への白金族元素の堆積傾向は今現状見られていないと。
0:23:28	三つ目として家族要因につきましても、対策の効果を現状確認しているというところ、四つ目白金族の体制管理資本推移につきましても、過去とを比較して有意な堆積傾向は見られていないと。
0:23:43	先ほどの最初の運転データの方であります主電極の電力が若干長所が認められているということでこちらにつきましては今後の運転データを確認し、
0:23:53	主電極電力等の調整を図っていきたいというふうに考えております。
0:23:57	五つ目として、設備関係の不具合につきましても、I T部の復旧以降をガラス原料供給装置の粉じん除去等を行っておりますが、保持運転等を行っておらず、現状を有効に機能していると判断していると。で、
0:24:11	最後まで引き続きホールドポイント2、46本製造に向けて、安全性による運転を進めていきたいというふうに考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:18	109 ページ目から参考資料ということでこれ過去の会合等で示した資料を添付しております。報告の方は以上となります。
0:24:29	はい。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。
0:24:38	すいません規制庁の加藤ですけれども、
0:24:41	資料の通しの 103 ページの、
0:24:45	補助電極間補正抵抗のグラフなんですけれども、
0:24:50	これこのグラフ見ると
0:24:52	青と黄色の
0:24:54	2004 年のキャンペーンと 201016 年のキャンペーンですかね、の時の、
0:25:01	スタートの時点の補助電極間の補正抵抗の値と、
0:25:05	19-1 キャンペーンと 22-1 キャンペーンの
0:25:09	補正抵抗値の値って大分開きがあるように見えるんですけど、これって何か原因って考えられたりするんでしょうか。
0:25:17	はい。現職モリカワです。04-1 キャンプ線は、2 号炉が運転最初の運転のバッチのラインになります。
0:25:28	ある程度電子 100 本ぐらいでしてその次が 16-1 のキャンペーン、19-12 ニノイチという形で運転が経過していってますので現状
0:25:42	炉底の方の白金族等は除去してるので、単純に炉底に白金族が溜まっているという状況でこの補助電極間抵抗が下がっているというふうに今考えてなくて、
0:25:54	私どもの方の劣化といいますかある程度使用した状況によってこういうような補償点、補助電極間抵抗の推移を示しているのではないかなという形で運転経過したところのような形で少しずつだんだん、
0:26:09	所を徐々に強化抵抗が下がり傾向があるのかなという形で今考えてますこれにつきましてはこちら引き続き
0:26:17	今回の運転また次回以降の伝統、データを蓄えていってそういう状況を、についてはちょっと評価していきたいというふうには考えております。
0:26:27	規制庁の加藤です。この炉の劣化で補正抵抗値が下がっていくメカニズムなんていうのは、何かこう、
0:26:36	緊急とかされたりするんですか。
0:26:39	安倍常務。まだそこまでちょっと具体的にではないんですけどやっぱり、多少レンガというのが侵食して少し形状というのが変わったりして

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	るっていうのと、また照明時に少しガラスが残っていたりするんじゃないかというところ。
0:26:58	あともう補助電極間の前のレンガですねそういうのを少しずつそれを削れて期待しているので、そういうのを含めて、抵抗値にこういう形で表れてきてるんじゃないかなという形で少し
0:27:11	考えているところなんですけど、具体的にそれがその値としてちゃんとこう評価できてるかっていうところではないので、ちょっとそこら辺を少し推移を見守っていきいたいなというふうには考えております。
0:27:23	現状規制庁の方でわかりましたありがとうございます。
0:27:33	カッカンの石井ですけども、
0:27:37	よろしいでしょうか。はい。お願いします。お疲れ様です。一応、
0:27:44	今のところは順調に進んでいて10本目は数、今日、明日流下がされると思うんですけど、大きな変、そのやった後に変なことがなければ、10本目はクリアして次ツール進められると。
0:27:58	いう理解ですけども、
0:28:01	基本的にホールドポイントで特に何て言うんしょうねタイムリーに何か上とか何かまわして判断するとかそういうことではなくて値が特に問題なければそのまま、
0:28:13	連続で続けるっていう理解でよろしいんですね。
0:28:18	はい、原子力モリカワさん。そうですね。基本的には今までの状況、これも適宜ホウキコウ内藤りも周知をしておりますので、特段大きな変化等なければ、引き続き運転を継続していくということにしておりますただ一方、
0:28:35	10本までのデータにつきましては今回示したような資料を整理しておりますので、資料を整理した上で、その整理者資料で、社内等に報告していくということは並行して進めていきますけど、そのまま今日問題なければ、そのまま11本目に引き続き運転は行っていくという形で今考えております。
0:28:57	はい、了解しました。引き続きよろしくお願いします。
0:29:12	他に規制庁側から何か質問等ありますでしょうか。
0:29:21	磯。
0:29:23	はい。ありがとうございますそれでは引き続きよろしくお願いたします。
0:29:28	それでは続きまして、工程洗浄の状況について資料の3-2ですかね。
0:29:36	はい。説明をお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:40	はい。前処理施設課の仲野です。それでは 112 ページ、資料 3-2 ということで、工程洗浄の進捗状況こちらの、こちらの資料を用いてご説明いたします。
0:29:50	まず貸し人弁護でのフォーマットによって概要まず概要になります。丸の一つ目ですけれども、東海再処理施設については令和 4 年度から今年度にかけて、
0:30:00	工程燃料を実施する予定であって今回、主に燃料粉末及びその他の核燃料物の取り出しを令和 4 年し、6 月 6 日から開始していると。
0:30:10	夏目龍音氏、6 月 6 日から開始していると。
0:30:14	2 日目ですけれども、使用済み燃料センター 9 月の取り出しは、8 月 5 日に終了。今回括弧予定ということで記載してございます榎村の予定額、
0:30:25	僕の予定です。現在使用済み燃料年度末の土地等に用いた工程の洗浄、その他の核燃料物質の取り出しを含むを実施中であるということで、令和 4 年 9 月上旬に終了予定となっております。
0:30:38	それでは次のページ本文にありますけれども、工程洗浄の進捗状況ということで、
0:30:44	応答の説明書については先ほどの概要等々でございます。こちらの方は令和 4 年 8 月 19 日時点における進捗状況を伊佐の方に呼ばれて示してございます矢羽根三つのうち、
0:30:55	二つのいわばについては先ほどの概要と同様でございます。最後の矢羽根三つ目に対しては、今後、低濃度のプルトニウム溶液及びウラン溶液の取り出しを段階的に実施する予定ということで結んでおります。
0:31:07	資料の方ですけれども、次のページに工程洗浄の概要図を示してございます。今回、工程洗浄のうちせん断粉末の取り出しについて、
0:31:18	この図の中で説明してございます。現在、
0:31:21	せん断粉末左上の部分ですね、こちらのこの部分はもうすでに、その中全部取り出し消化して取り出してございます取出し終了ということでハッチングしております。
0:31:31	それでそのあと、この駒形の部分ですね、赤と黄色と緑のハッチングしております系統について大瀬洗浄中ということで、これを目標として実施しているところでございます。
0:31:44	ということで、現状を説明する資料となります。今回は工程洗浄の方、市の間は今後、
0:31:51	もっと具体的にいい写真とかを合わせて
0:31:56	やってるかお示したいと思っております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:00	工程洗浄の実施状況については以上になります。
0:32:05	はい、御説明、原子炉規制庁の方で説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問コメントありましたらお願いします。
0:32:19	すいませんカッカン開始かかん石井からなんですけど、
0:32:24	よろしいでしょうか。お願いします。工程洗浄を始める時に、例の、何でしたっけ。
0:32:36	うん。
0:32:39	差圧、
0:32:41	圧力が上がらなかった上がらなかったでしたっけ、ちょっと一時不具合があって、少し工程洗浄遅れたっていうのがあったんですけどあれの最終的な原因とかって、
0:32:52	何かあれですかね細かくちょっと確認したっていうのって今回のこういう発表とかに載せたりするんですかね。
0:33:04	来週施設課の中間です。江藤小、スター通溶解槽の、
0:33:09	差圧ができなかった現象というのは利用者の負担の部分がちゃんと見設定できなかったということなんですけども、面談の方では、これまでご説明して参りましたが回診番号でこの部分まで細かくれるかどうかちょっと、
0:33:24	については、スパー進捗状況ですので順調に住んでれば順調に進んでるという説明で良いのかなと思っております。
0:33:32	はいわかりました。数交換して無事、圧力が上がったとは聞いているので
0:33:43	もの自身の不具合だったんだろうということは、理解してるんですけど、もし何か触れるようでしたら、
0:33:51	資料、資料には入れるのかなと思っただけなので特に順調に進んでて特にそこは細かくは触れないっていうんであればそれはそれでこちらでは、
0:34:01	了解します。はい。
0:34:12	規制庁の加藤ですけれども、
0:34:15	ここ、溶解層っていうのはもう妖怪
0:34:19	処理が終わったらもう使わない。
0:34:22	もう今後、本人が使う予定はない。
0:34:25	理解でいいですか。
0:34:27	はい。今回の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:30	大下大下支店長ですね、遠藤小松を出した後に、本当詳細線量とか技術センターとかまだ続きますけどもそれがおれば、小橋予定はありません。
0:34:41	わかりましたありがとうございます。
0:34:55	他規制庁から何か質問等ありますでしょうか。
0:35:01	よろしいでしょうか。特にないようでしたら、ちょっとこのまま、
0:35:07	監視向井5の資料の説明を続けた方がよろしいですか、それとも資料1に戻って説明しますかどっちがいいですか。
0:35:24	そうしたら資料1に戻らせていただいて、やらせていただければと思うんですがよろしいでしょうか。はい。吉田カトウです。はい。それをお願いします。
0:35:36	資料1に戻っていただきまして
0:35:41	えーっとですね性能維持施設の関係でこれ前回、我々がちょっとお願いしたコメント対応状況についてだと思うんですけれども前回と変わった部分について中心にご説明をお願いします。
0:35:57	はい。最初に推進室の岡林です。こちら前回7月20日の方に性能維持施設6月の申請で出させていただいた製造技術変更点についてご説明した際に、
0:36:09	性能維持施設の中の事故対処設備の数が変わっているということでそちらの理由の詳細な説明をということで、
0:36:21	同意いたしました。本部の方は変えておらず28ページ。
0:36:27	見ていただきますと別紙という形で事故対処設備の構成の強化についてと、こういうのでまとめさせていただいております。
0:36:41	28ページの別紙の方ですがこちらは
0:36:45	令和3年9月30日に、
0:36:49	プルトニウム転換技術開発施設PCDFの管理棟駐車場に事故対処設備を設置する工事の設工認を申請させていただいた際に、
0:37:00	この事故対処設備を展開する中心であります管理棟駐車場から水源。
0:37:07	そして、可搬型水設備を設ける南東地区高台の南東地区までのアクセスルート给水ルートですね。
0:37:17	そちらの状況について
0:37:21	東側ルートと西側ルート2本のルートを準備し、想定していたものの、
0:37:29	実際に地震等ありますと陥没等の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:34	が生じることが想定されたことから、当時の事故対象では、T A F たところの駐車場において資機材、エンジン付一本分ですとか消防ホース、
0:37:46	そちらを人力で持って行って南東地区まで送水給水ルートを確認するという計画でしたがやはり陥没等を考慮すると、人は大きな荷物を担いでそういったものをやると信頼性を
0:38:01	低いし時間がかかるということで、こちらのルート上にですねあらかじめその必要な資機材を分散配置して、事故対処の信頼性を向上させると。
0:38:12	いうことにしました。
0:38:15	28 ページの一つ目の丸のところが今説明した内容でして
0:38:22	被災時における給水ルート構築作業を要因するために、西側東側の各々のルート上に、
0:38:28	給水ルート構築用の資機材として、消防ホースエンジン付ポンプ組み立て水槽等をあらかじめ分散配置することにしました。こちらの別紙図 1 というので、
0:38:39	32 ページに、その地図上でルートと分散配置場所を示してございます。
0:38:47	ちょうど地図の中心ぐらいにあるのが P C D F 管理棟駐車場で、
0:38:53	こちらから水源が置いてあります。下の方の三藤地区、
0:38:58	こちらまで赤と青の線、二つのルートで給水ルートを確認するんですけども、その際この黒丸で示したような位置にあらかじめこのルートで使う資機材を分散配置すると。
0:39:12	いうことにいたしました。こういう強化を行うということにしますと、
0:39:17	一方従来、ファイル T V F の建屋内に保管していた資機材につきましてはこの上の方の、
0:39:24	提示部門ですねそちらに、木瀬の所内水源ですとか、あと自然水、こちらを利用する際の給水ルートを構築用に用いるということで、
0:39:35	それぞれ
0:39:37	下のリストに示すような形で、
0:39:40	資機材を配置しております。
0:39:45	その結果ですが 28 ページに戻りまして
0:39:51	四つめの丸のところを、こういった重複して資機材を配備することによって、
0:39:58	眉予備とするものも含めて消防ホース本数は

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:03	前回の申請時申請初回の事故対象施設、事故対処の有効性の時には 120、
0:40:11	から 128 本増加いたしまして合計で 299 本、
0:40:16	エンジンつきポンプは 6 台増えて合計 14 台、組み立て水槽は 6 基増えて 14 となりました。
0:40:22	こちらの増えた分を今回事故対処を性能維持施設として管理するという ことで登録した次第でございます。
0:40:31	またその他の未然防止対策に使用する水源についても、
0:40:37	大南東地区や所内制限を使わずにできるように P C D F の駐車場に設置 する間型貯水設備を、従来 1 基であったところに気にして必要な対策に 必要な水量を確保することにしております。
0:40:53	で、いろいろパターンがあるので、それぞれに構成図、
0:40:59	前回も示しましたが構成で示してましてあと 30 ページにその対応表と いうことで、
0:41:06	これは高放射性廃液通常の事故対処のパターン、別紙表 1 というところ で、未然防止の①から③あと遅延対策①②と、
0:41:17	いうものを水源と燃料のを組み合わせ、あとは概略の対策内容をまとめ ておりまして、
0:41:24	その下の別紙表 2 というところで、
0:41:27	それぞれの対策ごとに、構成図、後の、
0:41:32	33 ページ以降につけております構成時どれに該当するかというのをまと め資料としてつけております。
0:41:39	次の 31 ページは T V F、それも T V F バンクということで同じような 整理をしております。
0:41:47	それで少し辺で飛びまして、
0:41:53	73 ページ。
0:41:56	を見ていただきますと、
0:42:00	こちらにそれぞれの設備への移設をしている事故対処設備の、
0:42:07	令和 3 年 6 月の申請内容から今年 6 月 30 日に申請した更新の内容をそ れぞれ
0:42:15	比較してまとめた表を載せています。
0:42:19	ここで下線部が引いた箇所が、変更があった箇所、やはり変更があっ た設備になっておりまして例えば組み立て水槽ですと、
0:42:28	ですと、H o w T V F 共用と。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:31	ということで先ほど申し上げましたようにプラス6分は、昨年6月申請内容に対してプラスループの14、
0:42:40	という形に増えていると。
0:42:43	エンジンつきポンプはその下同じように、6基増えて14切って、
0:42:48	前回の時に質問でわかりにくいという指摘を受けて障防法数、
0:42:54	ですが今回はHowTVF用と分かれて、案2種類しか書いてなくてその2種類で
0:43:02	南東地区や所内水源までの水路も給水ルートを仮構築するという形でしたが、
0:43:11	今回はPCDF駐車場から水源まではHowTVFで共用するルートであることからの共用という、
0:43:19	項目を一つ設けましてはHowTVFこちらは駐車場からは駐車場からTVFも、
0:43:26	給水ルートを確保するために使うホースで共用というのはPCDF駐車場から水源まで使用するコースということで、
0:43:34	整理し直しました。
0:43:37	だけを見ると確か前回91本に対して今回53と言って少なくなっているように見えるんですが共用部分を含めると全体としてはプラス128本を299本として増強しております。
0:43:52	ここの表のように、数の方は全廃として増えていると。
0:43:57	ということになっています。
0:44:00	やった結果工程がどう変わるかとして、
0:44:05	例えば、33ページを見ていただきますと、
0:44:11	こちらの未然防止対策1のHow。
0:44:14	のものでございますが、左上の方を、
0:44:18	図の左上の方の南東地区から、
0:44:21	その下のPCDF駐車場と赤く囲って破線で囲ってある部分を結ぶ。
0:44:28	ルートを東側と西側両ルートを同時並行していますか、構築できるだけ資機材を配備していると。
0:44:37	いう形になっております。
0:44:41	一方で従来どうなっていたかといいますと、こちらもちよっとすみません、ページ飛んでしまいますが、62ページ。
0:44:53	なります。こちらの同じ部分左上を見ますと、
0:44:58	ルートは一つしか書いていなくて、基本的には動き、コースは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:05	一つの機材の中から使って構築すると。
0:45:10	ということになっています。
0:45:14	こういった形でルートごとに、基本的にはルートごとに資機材を個別に分散配置したということで必要な数が増えた。
0:45:25	増えたのでそちらも同じように性能維持施設として、管理していきますというような申請が今回6月に出した組成能力の事故対処設備、
0:45:35	の更新内容になってございます。
0:45:38	説明の方以上になります。
0:45:42	はい。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、質問、コメント等ありましたらお願いします。
0:45:51	それ、今説明いただいた33ページの、
0:45:57	左上の消防ポンプから組み立てそういう水槽が、
0:46:03	二つ分かれてるんですが、
0:46:06	これは必ず東側と西側の
0:46:12	ルートを2本設置するっていうことでもなくて、どちらか一方を設置するということですか。
0:46:20	はい。実際の事故対処ではどちらか一方使える使いやすい構築しやすいルートを構築するということになります。
0:46:30	はい、わかりました。
0:46:40	他質問ありますでしょうか。
0:46:55	規制庁加藤ですけれどもちょっと質問というか感想なんですけれども、
0:47:02	衛藤、今日、今日追加していただいた資料で大分クリアになったかなというふうに思いますので、ちょっとまだ全部見切れてないので、
0:47:12	ちょっと審査の中で確認した上で、何かちょっと疑問がありましたら、
0:47:17	相馬田尾式するかもしれませんが、取り急ぎ整理していただいてありがとうございました。
0:47:24	はい。よろしく願いいたします。
0:47:30	よろしければ、じゃ次資料の2のご説明をお願いします。
0:47:36	はい。原子力機構のサモトです。資料2のご説明を差し上げたいと思います。資料2の方はですね高放射性廃棄貯蔵場の顧客時新名新野県の64ブログの分解点検結果等についてと、
0:47:50	ということで前回7月20日にですね、面談の方をさせていただきまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:57	当該フロアの分解点検結果について報告させていただいております。その際のコメントをいただいておりますので、今回の事象を踏まえた、
0:48:09	本フロアですね、管理の改善について述べるべきということがございまして、その部分について見直しをかけているのが本資料という形になってございます。
0:48:24	1ポツのところの章については前回と同様ということで変わった部分を中心に説明差し上げたいと思います。
0:48:34	3ポツの方がですね風呂場部の分解点検結果ということでこれについては特段変わりはなく、4ポツ、78ページ、推定原因のところですね。
0:48:45	これちょっと振り返りということで、見ていただきますと、今回分解点検をした結果ですね、
0:48:53	4ポツ推定病院の2ポツ目ですね、接触があった部品ということで、ロータシャフトの軸封部ハウジングこうの接触があったというようなことを示しております。
0:49:05	その辺りの部分を詳細にクローズアップしている資料がですね、84ページの図の2ということでももちろん見ていただきたいと思います。
0:49:17	これはですねロータシャフト凹凸のハウジング部の齧りコンテことで、右側のグリーンの拡大とお話をしておりますところで、
0:49:28	接触した部分というところをで示しております。
0:49:34	ここにですね左下にございます部品、これはフロアの内部のLCLという部分ですけれども、ここのゴム部がですね、ここのアウティングとロータシャフトの狭隘部分と、
0:49:49	ということで図に示しております部材との隙間という意味で0.09mm。
0:49:55	ここの間にこう入ってきてこれは囲みを生じて、その結果これは通りまして両方が接触と。
0:50:04	そういったようなことで、当該フロアが停止に立てるということの推定をさせていただきます。
0:50:10	これについて前回と大城は変わってございませんでご交通の方です。真子0を受けてですね、どのように管理の改善を図っていくかということ整理をさせていただいております。
0:50:23	79ページ、小塚委員の関連ということで、ご意見以降にしまして前、従前のその管理方法についてまず整理をしております。
0:50:33	これまでは定期点検ということで年次月例事情、加えまして傾向管理ということで、以上の当期発見に努めて参りましたがけれども、今回の事例にありましたこういう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:47	消耗部品の劣化係数に起因した補償をいうものが東海林たものと、
0:50:53	いうことでございます。
0:50:55	本事象を踏まえまして施設の安全機能維持に向けた改良改善を図るということで、消耗部品の劣化に関してですね、これまでどういう管理をしてきたかということで、①と②と二つを整備をしているということでございます。
0:51:10	一つ目としまして累積収容時間の目安を設定をするということで、当該ブラボーに関しましてはこれまでのその使用環境を、におけるその実績を基にですね、
0:51:22	8年間の週時間を一つの目安として徹底をしてございました。
0:51:28	またこれを超える場合についてはですねブロー分自体の全振幅振動速度活動等、ホシ設置をもちまして、
0:51:38	使用可否継続の可否を判断していくと、保有管理要領を定めて運用しておったと。
0:51:45	こういうようなことでございます。
0:51:47	この8年間という数字はですね*のところがございますけれども、従来の運転実績ということで最長のもので109.4年の前実績があったということで、
0:51:59	これをもとに保守的に8年というものを一つの目安として設定してきたということでございます。
0:52:07	②の方ですけれども、蛍光管による異常の検知ということで、過去平成18年から28年の間においてはですね、定期的にブラボー交換するというこういう保全をしておりました。
0:52:23	これはブラウ自体をですねアセンブリで交換をして中身の消耗品を整備をして、また戻していくと、こういう整備の仕方を行っておりました。
0:52:36	これについては保安規定の改定が平成29年にございましてそれ以降はですね、
0:52:43	こういう部品交換に係る規定が改訂されてる関係で、定期的に運転データをあって、傾向管理をしていくということで異常の検知兆候をですね研究して、
0:52:56	健康管理により保全を行うと、こういうことができるというふうに考えてこういう傾向管理を行ってきたと。
0:53:05	というような経緯がございます。
0:53:07	5.2項の改善項目ですけれども、今回の事象を先ほど述べました4項の推定原因ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:17	こういったものを踏まえましてオイルシールを有するルーツフロアと、こういったものと同じ構造をしておりますので、今回と同じ事象の発生の可能性が考えられるということです。
0:53:31	また停止したのを新名における 64 のフロア、これは水素掃気機能を有する構成する重要な設備と、
0:53:39	ということですのでその下以降に改善項目としてこのようなことを考えてございます。
0:53:47	一つ目が予備機の復旧までに時間を要するもの、或いはそのスペックの安全のために調整規定を受けるようなもの。
0:53:55	こういったものをグラブの定期交換を行うということで、改善を図るということの一つ目のポツとして整理をしました。
0:54:03	二つ目のポツとしまして定期交換対象をですけれども、施設の安全機能を担うということで先ほどの丸つぶらは構造的に同じ問題が発生し得るということですので、
0:54:16	ルートプラを対象にしまして水素掃気用尾野ピア食器、これ大町先ほどの新名新野形の 6364 をこれに加えて、
0:54:26	本施設の重要な安全機能ということで閉じ込め関係で同じグループリーダーを使用しておりますので、そういう環境の灰吹ということで新名新野形の 463464
0:54:38	これを対象に鉄工衛生防犯の他、整備をしていきたいというふうに考えます。
0:54:45	3 ポツ目ですけれどもこの頻度をですけれども、実環境における使用実績ということで、これに基づいて規定の 6364、6463464、これは主に、
0:54:58	2 万時間を設定をいたしまして、数、そのごとに定期交換を行って整備を行っていきたい。
0:55:07	今後の整備結果を踏まえてですね、交換頻度と検証した上でリスクに応じた補填されてもらえるように改善を発信したいというふうに考えてるんです。
0:55:18	今設定をしておりましたのに、2 万時間というような対応についてはですね、まず一つは、20 ページのところの米の日ということでもありますけれども、
0:55:33	消耗部品の劣化に関しましてはこれまで整備の実績がございます。累積の点字版とその後のその計算の有無の関係ということを、ページで言いますと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:46	85 ページになります。85 ページの別紙 21 の方にですね、整理をさせていただいております。
0:55:55	これまで整備をして中のオイルシールの欠損があるかなかった方がなかったかということを示してございまして、
0:56:05	この棒グラフで言いますとブルーの部分にしましてはこの累積運転時間においてのその欠損はなかったというなことを示してございます。
0:56:17	それぞれ最初 2 万 4000 時間から 1 万 8000 時間程度ということをごさいますのでこれ欄の実績値を用いて、
0:56:27	約 2 万時間ごとにですね、ここを整備を実施していくという改善を行うことでですね従前よりも早急な対応ができるというふうに考えてございます。
0:56:42	また先ほど追加いたしました宗大類菅付の配布事でこれについては 80 ページ内、飯野ウエノ方にですね※1 として、
0:56:53	書いておりますけれども、甲斐そういう関係のフロアということで同じくルーツブロワーと、これ 2 台がございましてもうこれは同じく運転機が停止しました代金、野末今井黒木とするとこういう設計ではあるんですけれども、
0:57:10	仮に漁期が停止するというような状況になりますとハウスナーにその圧力上昇に繋がるというようなことがございます。
0:57:18	こういったことを踏まえて定期後半の体制というふうに今回企画をさしていただいているんですが、
0:57:25	5.3 項がですね、グローブのところで交換を行うに当たりましたの手續きということで述べてございます。グラフの効果につきましては以下の理由ということで通常の保守、
0:57:40	としまして
0:57:42	保安規定 115 条に定めました部品交換として実施をしたいというふうに考えてございます。
0:57:48	一つ目のポツですけれどもこのブローにつきましては分解点検結果今回の分解点検結果よりですね、同一仕様のグローブの交換ということで新たに機能性の変更を要するものではないと。
0:58:03	ということで溶接等の工事等も必要としない、こういうようなこととございます。
0:58:09	2 ポツ目でグラフのアセンブリ効果と、こういうことを行いまして、交換後の機能性能に変わりはないと、また施工人の記載事項にも変更がないという状況でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:21	名3ポツ目ですけれども、ブラボーにつきまして115条に定めております交換部品、 $\eta$ 交換対象部品等の全構成部品はリストアップはされておられませんけれども、
0:58:34	保安規定115条第3-1-1表というところに回転機器の構成部品、
0:58:40	いうことでそれぞれの部品を列挙しまして等という形で示してございます。この等に負わせるような対応ベース、放管ができるというふうに頑張っているということを整理をさせていただきます。
0:58:58	これにつきましては7月6日にですね相談させていただいて踏まえて
0:59:06	で6ポツの方がグローブの交換ということで、実際今回生殖本確認されました小黒%。
0:59:13	2番目のウエノ64についてですね、ここ前回と同じくですけれども、処理がなかなか困難な部分があるということがありますので今回傷ついたものについては廃棄と。
0:59:27	いう形で今後別の予備品を用いて使用していきたいというふうに考えてございます。
0:59:35	また7月4日にはですねボイラ部自体をセンブリで交換をして現在、新名新野編の64、法廷に取り付けてございますが、
0:59:46	これも同一仕様の予備費への後半ということで、先ほどの5.3を踏まえましてこのままの件継続を続けていきたいと、一応継続していきたいというふうに考えてございます。
0:59:59	また今回の事象を踏まえまして、定期交換を行うブローア、先ほどのよ、K-6364万6000円の不安ですけれども、これについては所定の累積時間に達するものは順次アッセンブリ効果によって、兵庫部品を整備をしていくと。
1:00:15	いう、最後に述べさせていただきました。
1:00:18	82ページ以降はですね前回の資料と説明変わりはありましたので説明は割愛させていただきたいと思います。資料2の方は目は以上となります。
1:00:33	はい。ご説明ありがとうございました。ただいまのご説明につきまして、質問コメント等ありましたらお願いします。
1:00:42	若干から石井ですけれども、
1:00:45	はい。お願いします。今回の説明、ありがとうございましたここ、
1:00:51	ホーム、この対象となる経営、新名新野形の6364と463464は予防保全的に定期交換をしていくっていう理解に
1:01:03	でよろしいんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:06	はいその通りです。わかりましたじゃ今後はその形で予防保全ということになるとということで、そうするとあれですかね
1:01:17	怖い。
1:01:18	今って保安切っていない高齢予防保全っていう形の記載にはなっていないでしたっけ。
1:01:27	それともなっているんでしたっけ。
1:01:32	予防パターンという記載ではなくて部品交換を行う時のその手続きについて
1:01:39	規定があるというそういう状況になっています。そうですか。そうすると、特に保安、あ、すいません。こっからちょっと製鉄理論になるんで多分
1:01:52	ちょっと、
1:01:53	あれですね審査部門との兼ね合いもあるのかもしれないですけど、特に今回、保安規定を変更するというのではなくて下部要領とかに何か書かかもしれないけどこの規程は変更しないっていう理解でよろしいんですかね。
1:02:07	はい。その通りです。保安規定自体の変更はこれになりません。5.3項に手続きについて書いておりますけれども現状の先ほどありました5.3項1、下のポツです。ここに含めて読ませるという形で、
1:02:23	対応したいというふうに考えております。
1:02:27	ちなみに、観劇速報とかすみませんちょっとこれ、ちょっとごめんない。下のあれには、例えば要するにこここれは
1:02:37	定期的に交換していきましてというような感じでその下の要領とかには、何か落とし込みとかもあるんですかそれともそっちも特に変えないっていう理解なんですかね、ちょっとその辺り。
1:02:49	はい。そこはですね79ページにございますけれども従前の管理方法の中で、
1:02:57	①のところですねこういう対応をとるということを要領に定めておりますので、今回の改善を止めますとこういった部分を修正をかける必要がございます、
1:03:10	こういった管理要領はこの面談結果を踏まえて改定を掛けていきたいというふうに考えております。
1:03:18	はい、わかりましたどうもありがとうございます。
1:03:28	それで規制庁カトウですけれども

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:31	これ他の例えば他の何か設備なんかで、定期交換で予防保全してるものがあるのかないかちょっとわかんないんですけど
1:03:41	そういったものがある場合は同じように下部要領で定め、
1:03:45	照井という認識でいいですか。
1:03:51	今回の事象を踏まえまして長谷通の中ですってね同じ構造してる、ルーズブローアということと安全機能をイッセルものということで、
1:04:02	他の施設につきましてはこのK-466364という、この4、6ということになりますので、こういったものについては
1:04:13	先ほどありました要領の方に追求して管理の対象として
1:04:19	利益相反の方を実施していきたいというふうに考えてます。
1:04:26	すいませんちょっと私が聞いたかったのはそのブローアに限った話じゃなくて、現状の
1:04:33	設備D、そういった定期交換による保全をしているものがあるのかないかっていうところと、そのある
1:04:42	ある場合には、その下部要領にそういったことを定めてるっていうことでいいのかどうかという住まい。
1:04:49	一般的なのというか、ちょっと大枠のことでちょっとお聞きしたかったんですけども。
1:04:59	評価の大きいものでございます。保安規定上はですね保全方式ですとか頻度とかは書いてなくてですね、保安規定を受けた施設管理実施計画の中で点検頻度ですとか、話す時等を決めております。
1:05:12	先基づいてCNO維持施設については基本的には予防保全で、それにつきましては設備保全整理の中で、年1回、機能の確認をやるですとか、
1:05:23	あと分解点検を毎月やるってかっているのはその整理の中で決めており、
1:05:29	カトウですけども例えばその中で、この部品については、定期交換、
1:05:36	で対応するみたいなのもそんなに変え定めてるものもあるっていう理解ですか。
1:05:44	今回の機器についてはちょっと確認しておりませんが部品レベルの細かい部分につきましては被告の気中で進めてるものもあるかもしれませんけどフィスコも、
1:05:55	性能施設例えばアスコットとか入ってるものであれば、分解店舗1円とかかっているのを決めてる、5年に1回とかかっている決めてるものはその地域保全性の中で管理をして、
1:06:05	この部分的な部品の周期としてはまだ明記しなかったん、ちょっとあったかどうかちょっとよくないですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:13	そこはちょっと、今後入れていくか、何か管理していくのかなど。
1:06:17	できるだけの説明を行っているのかまだ始まったばかりで、任せるできていない部分もあるかもしれませんが、そういった必要なものについては、加えてあげていく必要あるかなど。
1:06:39	それではちょっとわかってるのはわからないよなという感じなんですけれども。
1:06:46	の分解点検をいつやるっていうのは、それはわかるんですけど
1:06:52	この部品交換をある一定の頻度で行っていきましますみたいなことを書いた前例というのはあるんですかってこと聞いてんですけど、今回の、今回定期、
1:07:03	ブローアを定期交換で対応するっていうふうに改善案佐古買い手いただいているんですけど、そういうような対応してる設備ってのは他にあるんですかってこと聞いてるんですけど。
1:07:17	どうでしょうか。
1:07:22	品質保証課の沖本です。設備保全整理表にはその細かい部分までのちょっと確認はされませんが、
1:07:31	多分下部の要領の中では、どの部品を何時間とか何か交換するとあるかと思えますそれで使っておりませんので、
1:07:39	今、各施設からの確認、今の機器については、カブヨウの中でそういった管理をしているということで、
1:07:54	はい
1:07:56	了解しました津田今井今、今はちょっとわからないわからないということで理解しましたんで、
1:08:03	そうだがそういう
1:08:05	何か定期交換。
1:08:07	しますっていうのを何か、その下部要領で定めている。
1:08:11	前例があるのかなっていうことだけがちょっと気になったんで、そういうものがあるんだらちょっと後で、結構ですので教えていただければと思います。
1:08:20	私からは以上です。
1:08:23	失礼しました定期交換をやってるようなその事例について、窓や要領を定めているかとか、ちょっと確認させていただきたいと思います。
1:08:55	カトウですみません品、ちなみになんですけどこれちょっと前回行けばよかったんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:02	この設備って、今回のそのブローグロブで分解点検を、おそらく定期的にやってたん。
1:09:14	やってて、やってたけれども調教課報の故障の兆候を掴むことができなかつたっていうことなんだと思うんですけども。
1:09:21	このなんかオイルシールルーのそのゴム、
1:09:25	欠損が認められたゴムの部分っていうのは何か目視で確認とかしてたんですか。
1:09:33	そうですね金、大江の資料の部分っていいのですが83ページの図の一位を見ていただきますと、
1:09:43	わかりやすいかと思えますけれども、
1:09:47	写真、
1:09:49	この真ん中の検知のところを見ていただきますと物このグラフのな内部についてるようなものでして、
1:09:59	最終的にこれは取り外して分解をしますと写真3のような状態で観察ができるというようなことになります。御県警においてはですねこういう多い状況というのは外から確認はできないんですけども、
1:10:16	マテック実施しておいた時にはですね分解整備いたしますので、その中で、保有は写真3のような状態のものっていうので、目視で確認することができるようになるということでございます。
1:10:32	通常の保全ではここまでは見ないってことなんです。
1:10:37	そうですね年ですとか月例ですとかこういう保全の中ではですねこの分解までは行いませんのでそういう意味では状況の方は大木はできないということです。ただ
1:10:51	抵抗感を今後やっていく中でですね、劣化状態っていうのは観察になってます。
1:10:58	はいわかりましたありがとうございます。
1:11:09	よろしいでしょうか。
1:11:12	はい、ありがとうございます。そうしましたら、
1:11:16	次、
1:11:20	資料の
1:11:21	3、3-3ですかね。
1:11:25	はい。のご説明お願いします。これ多分これまで説明聞いてきた内容だと思うので、また資料の構成について中心で教えていただければと思いますよろしくお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:39	はい。推進室ナカバヤシ紹介いたしました資料 3-3、こちらはさ、6月30日に申請いたしました廃止措置計画変更認可申請書、
1:11:53	ひとまとめ、ひとまとめにして、解約を説明するという形の資料になっております。投票し、つけておりましてその中で基本的に6月30日申請のメインは
1:12:06	ふげんの使用済み燃料を海外の再処理施設事業者へ全量搬出する計画があってその搬送手順と設備対応を具体化したと。
1:12:16	ということで申請したものだという位置付けになってございます。
1:12:20	丸の二つ目に書いてありますように主は、使用済み燃料を、の搬出のキーポイントとしてまず搬出し設計承認を受けた乾式、それを機を用いることを、
1:12:34	輸送についてはこれまで、最初に運転時に行っていた操作或いは設備の範囲内で行えること。
1:12:44	ただ安全をさらに向上させるという観点から、設置入荷スプレイについてワイヤーロープの二重化や、あと燃料取り出しプールクレーンについては操作性の向上対策等を実施すると。
1:12:58	搬送中の想定事故ということで使用済み燃料の落下損傷を考慮しても、支援講師への被ばくの影響は少ないと。
1:13:07	いった内容を、添付1として116ページ。
1:13:15	逆算30。
1:13:18	こっちが十分、
1:13:20	146ページまで、これまでの面談で使った資料を或いは申請書から抜粋して
1:13:29	示した構成になっています。
1:13:34	その中に括弧0の二重化について設工認もをしております。同時に申請しておりますのでこちら146ページの1枚ものとして、どういった工事を設計と工事をやっているかと。
1:13:48	ものを示してございます。
1:13:51	その次の丸といたしまして
1:13:55	使用済み燃料の搬出以外の申請内容といたしましては、まずはTVFの安全対策工事の進捗に伴う申請ということで、再処理施設保全区域の変更は、後は先ほどご説明いたしました性能技術の追加等を行っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:12	さらに施設の保全に関する設計及び工事の計画に県といたしましてT V Fのインセルクーラーの電動機ユニット交換、再処理施設浄水供給配管の一部更新を申請してございます。
1:14:25	こちらをまとめてと店舗資料2ということで、
1:14:29	147ページ以降、
1:14:32	こちらも面談等で説明のために使用した資料、或いは申請書の中から、要点を抜粋してまとめたものをつけてございます。
1:14:45	こちらが資料3-3の構成になってございます。
1:14:53	続けてちょっと3-4も説明させていただいてよろしいでしょうか。
1:14:59	はいお願いします。
1:15:01	はい。資料3-4、こちらは以前面談の方でご報告いたしましたは、T V Fに関わる火災防護対策のときに、浅井訓練の内容とか、
1:15:12	あとハード対策の進捗等を示したものでして、
1:15:17	表紙をつけたということ。
1:15:21	の変更点で152ページ以降につきましては6月23日のメンバーの際にこちらから説明した訓練の報告内容。
1:15:32	を受けているという資料になってございます。こちらは資料3のようになってございます。
1:15:40	こっち、これで資料3-1のガラス、3-2の工程洗浄合わせて、
1:15:47	8月22日の面談資料会合資料ドラフトという形になってございます。以上になります。
1:16:01	はい。ご清聴ありがとうございました。規制庁側からコメント等ありましたらお願いします。
1:16:33	はい。
1:16:40	規制庁加藤ですご説明ありがとうございました。ちょっと当会合当日の説明の順番についてはちょっとこちらで検討してまた
1:16:52	ちょっとご連絡したいと思います。ただ申請の内容と、あとそれ以外の内容って形で分ける形になるかなとはちょっと思ってるんですけども、ちょっと改めてご連絡差し上げます。
1:17:07	はい、了解いたしました。よろしく願います。
1:17:30	それとウエノです。清の移設で今回
1:17:35	火災の、どう、溢水のを追加したってということなんですけど、
1:17:43	それは何かその設備の準備が整ったってということなんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:51	はい。こちらは設工認の方で詳細設計がしっかりできたということで要はどれが対象設備か具体的に上げることが
1:18:02	期間、機械物或いは説明文どうしてきちんとこ答えの区別ができるという形になりましたので今回、製造技術の中に加えたということになってます。
1:18:13	実際に設備は今後の5年かけて順次整備していく、そして、運用していくということになってございます。
1:18:24	あとこれまでの経緯ちょっとわからないで、聞いてるんですが、
1:18:30	火災対策だとか溢水対策、
1:18:35	を申請した時には性能維持施設にしてなかったんだけど、
1:18:41	今回した理由っていうのは何か、何かあるんです。
1:18:45	いや初めに堆砂くうの申請をしたときは、いわゆるし、基本設計、事業指定レベルの内容でして、それに基づきまして、
1:18:58	この初回の、
1:19:01	性能維持の登録以降に、設工認として詳細設計、実際の設備の設計をやって申請したと、いうことなので、その段階をもって性能技術として具体的にこれだというものを、
1:19:15	お決められるというかそういう段階になったので今回追加していると、いうことになります。
1:19:24	これまでも同時にやってないんですよ、選任してあって、過去にも、
1:19:31	追加別に、
1:19:34	どうかでしょ。
1:19:36	という案。
1:19:38	はい、わかりました。
1:19:48	はいすいませんちなみに今回って保安規定の申請の説明とあと仁科伊井。
1:19:55	でしたっけかなくていいでしたっけ、すみません。
1:20:00	品質保証部の沖本です。怖くてのは、今、
1:20:04	先ほど言いました事故対処施設関係計画の中の性能維持施設とその後の保安設備を入れたようなものでございますので、改めてご質問入れないかなと思ってございます。
1:20:16	あとはその他西宮市等だったかと思えますんで、
1:20:19	基本的には今の排出抑制の施設と同じ内容になっております。
1:20:25	一応、一応今回新たに申請していただいたんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:32	何か全く触れないっていうのも、
1:20:35	どうなのかなってのはあるので、衛藤資料の3-2なんかを合わせるような形でも結構なんで、何か
1:20:43	こういう申請をあわせてしてまずぐらいは、説明した方がいいのかなと思いますので、
1:20:50	はい。ちょっとご検討をお願いしました。
1:21:01	よろしいでしょうか。
1:21:08	はい。よろしければ、最後にスケジュールのご説明をお願いします。
1:21:14	はい。再処理センター廃止措置推進室の石田からスケジュールの方を説明させていただきます。
1:21:21	968 ページのところになります。本日は滝下ことでTVFの運転状況それから工程洗浄、
1:21:32	あとその他の案件について説明をさせていただいております。次回はですね2週間後の11日に設定させていただければと思っております。
1:21:43	22日に抜線会合ございますので、そちらに向けて、資料の最終確認といったところが中心になるかと思っております。
1:21:51	簡単ですが以上です。
1:21:54	はい、ありがとうございます。次回の面談17日なんですけれども、14時から。
1:22:03	025の会議室でお願いしたいと思います。
1:22:08	はい、了解しました。
1:22:21	規制庁側からスケジュール、その他、全体的なことに関して何か。
1:22:26	コメント等ありましたらお願いします。
1:22:39	はい。ではこちらから特にございませんが、原子力機構側から何か連絡事項等ありましたらお願いします。
1:22:49	はい、原子力表からも以上になります。
1:22:53	はい。本日の面談はこれで終了にしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。
1:23:00	ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。